

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・18〉	いわき市立 内郷第二 中学校
〈実施日〉	平成27年 2月 10日(水)	
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 2 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()	
〈実践内容〉	・除染情報プラザに連絡をとり、校庭の線量の測定や理科室での講義や霧箱の実験を行った。 (1) 講師 東北大名誉教授 馬場 護様、除染情報プラザ職員(3名) (2) 日程 10:00~11:30 校庭の線量の測定 11:40~12:20 理科室で講義(放射線について) 13:35~15:25 理科室で講義と実験(霧箱など)	
〈成果〉	・校庭の線量を線量計を使って測定したが、初めての線量計測定で、生徒たちの興味関心も高まり、また、身近な所でも放射線があることを知り、いい勉強ができた。 ・資料もとてもわかりやすく、放射線や放射性物質についての理解を深めることができた。 ・霧箱によって、放射線を視覚的にとらえることによって、驚きと日頃からそのような線が飛んでいることに気付けた。	
〈課題〉	・時間があれば、放射線の有用性や身近な物質からでる放射線についてもしることができるとよかったと思う。	
資料作成担当者職(教諭)	氏名(深瀬 和)	学校電話番号(26-3521)

【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月~平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)